

# 企業ニュース SGホールディングス

(東証1部：9143) <http://www.sg-hldgs.co.jp/>

作成者：荒木晶子

## 宅配便国内シェア2位の物流企業

1957年創業、京都一大阪間を主体とした飛脚業を開始した。1965年、佐川急便を設立。2006年、持株会社化し、現社名となった。2016年、企業向け物流サービス強化のため、日立物流(9086)と資本業務提携を締結した。2017年、東京証券取引所第一部に上場した。2016～2018年度の中期経営計画では、グループ力を集結して総合物流ソリューションを提供する戦略的営業開発チーム「GOAL」をはじめ、顧客の総合物流における課題解決や最適化に向けた提案営業に力を入れている。19.3期・第3四半期累計(4-12月)の営業収益構成比は、デリバリー事業80.6%、ロジスティクス事業11.9%、不動産事業1.7%、その他5.8%。

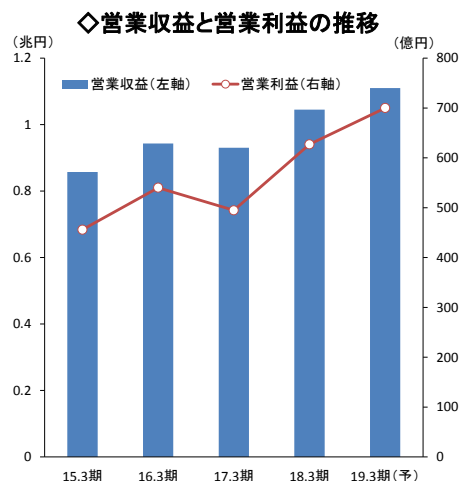
## デリバリー事業の増収が業績をけん引

19.3期・第3四半期累計(4-12月)の連結業績は、営業収益が8,491億円、前年同期比13%増、営業利益が620億円、同20%増。主力のデリバリー事業は、運賃の適正化による平均単価の上昇などにより増収となった。「GOAL」による提案営業の強化や、日立物流との協業による高付加価値サービスの拡大も寄与した。費用面では人件費や外注費が増加したが、増収効果で吸収して2桁営業増益を確保した。

19.3期の通期会社計画は、営業収益が1兆1,100億円、前期比6%増、営業利益が700億円、同12%増。上期決算発表時に上方修正した通期計画に、営業収益で100億円、営業利益で25億円を上乗せした。デリバリー事業では、宅配便取扱個数を12億9,000万個と想定、従来計画に対して1,000万個を上乗せした。また、年間配当金の予想を1株当たり40円とし、従来予想から2円増額した。連結配当性向30%を目標とした株主還元姿勢が評価されよう。

### [株価動向・投資判断]

堅調な決算を背景に、株価は緩やかに上昇している。今後は、注力する総合物流での提案営業の効果や日立物流との提携のシナジー効果が注目されよう。



(注) 18.3期は決算日変更のため、2017年3月21日～2018年3月31日  
(出所) SGホールディングス資料よりCAM作成

### <9143 SGHD 業績:日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	営業収益	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
17.3	930,305 (▲1)	49,474 (▲8)	51,208 (▲3)	28,452 (▲16)	275.0	36.00
18.3	1,045,032 (12)	62,709 (27)	64,870 (27)	36,021 (27)	115.5	33.00
19.3 予	1,110,000 (6)	70,000 (12)	74,000 (14)	42,500 (18)	133.8	40.00

(注) 17年9月21日付で普通株式1株につき3株の株式分割を実施。18.3期は17年3月21日から18年3月31日までの変則決算、伸び率は単純比較。



[主要株価指標] (売買単位: 100株)	
株価(2019/2/8)	2,958 円
昨年来高値(高値日)	3,110 円(19/1/18)
同 安値(安値日)	2,036 円(18/3/15)
予想 P E R (19.3 予)	22.1 倍
1株株主資本(PBR算出用)	1,102.4 円
P B R	2.68 倍
予想配当利回り	1.35 %
(1株当たり配当金40.00円)	
R O E (18.3)	11.7 %
発行済み株式数	32,020 万株